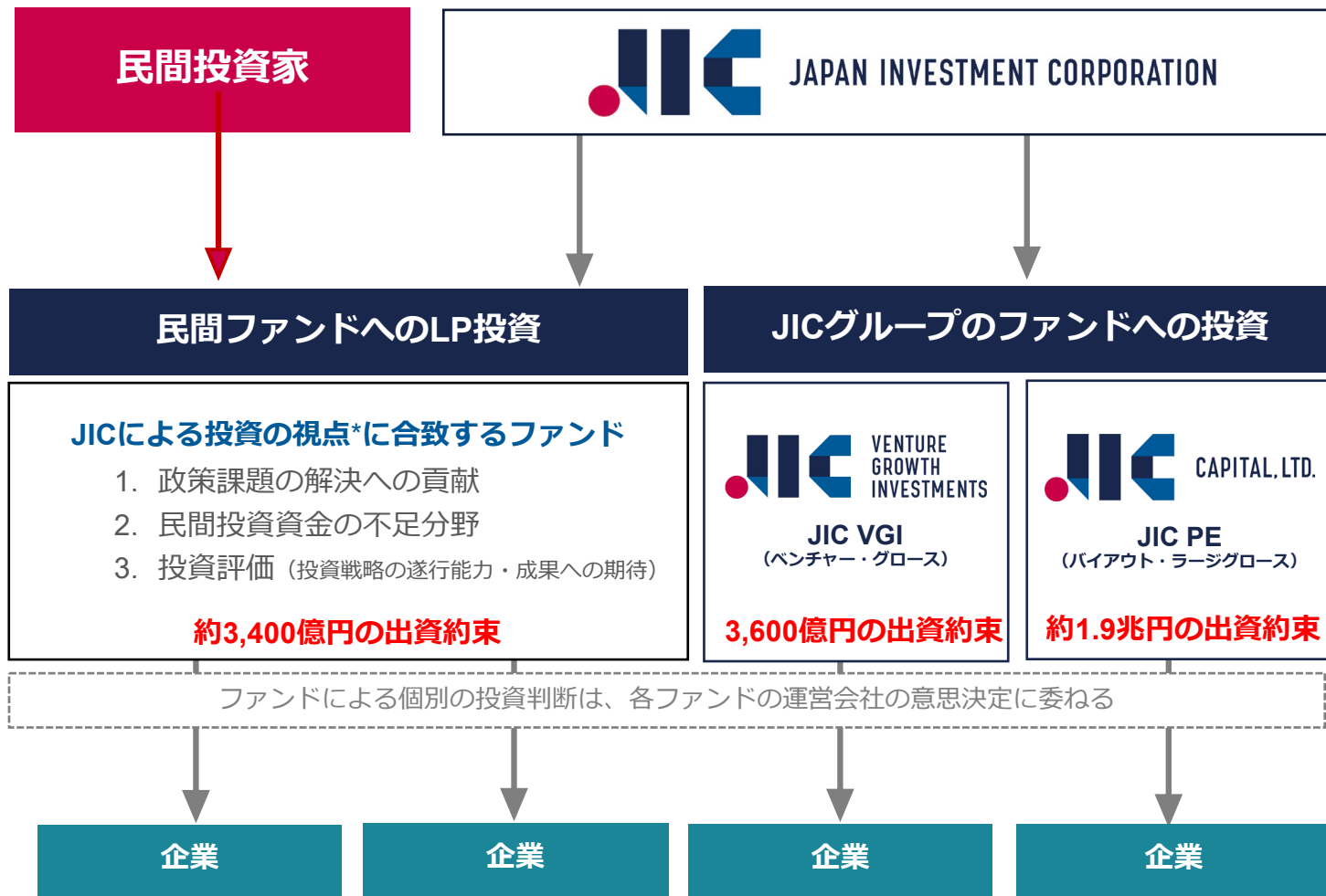


JICによる戦略17分野への取組について

2026年10月

株式会社産業革新投資機構

- JICは、2018年9月、産業競争力強化法に基づき、産業競争力の強化と民間投資の拡大という政策目的の実現に寄与するべく、発足した投資会社。
- JIC本体は、民間ファンドとグループ子会社2社（JIC VGI、JICキャピタル）のファンドに対し、累計約2兆6,000億円の出資約束を行ってきた。（2026年3月現在）



- JICは、2020年の投資開始以降、**約1.3兆円の投資のうち、17の戦略分野に対し、金額ベースでは約87%、件数ベースでは約83%を投資。**（2025年12月現在、JIC持ち分で名寄せ集計）
- 民間ファンドへのLP投資においては、17の戦略分野の過半を構成するディープテックやライフサイエンス分野に主に投資するファンドに対し、**JICのコミット額の約1,260億円によって、合計調達額は約4倍となる約5,040億円を実現。**（2026年3月現在）
- 今後も、**17の戦略分野に対しリスクマネーをしっかりと供給していく。**具体的には、子会社JICキャピタルによる**産業再編も含む成長投資について、17の戦略分野を優先して取り組んでいく**とともに、**長期のペイシェントマネー供給**の観点から子会社VGIの**ファンド期間の延長を検討する**。また、**投資検討時**において17の戦略分野の**該当性を確認**することとする。

JIC VGIの投資状況

合計：約1,000億円（2026年9月現在）

- (1) AI・半導体：290億円
- (2) デジタル・サイバーセキュリティ：138億円
- (4) 量子：14億円
- (5) 防衛産業：8億円
- (6) 航空・宇宙：74億円
- (9) マテリアル（重要鉱物・部素材）：6億円
- (10) 合成生物学・バイオ：2億円
- (11) 創薬・先端医療：372億円
- (12) 資源・エネルギー安全保障・GX：42億円
- (13) フュージョンエネルギー：48億円
- (14) 防災・国土強靱化：10億円

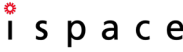
JICキャピタルの投資状況

合計：約1兆円（2026年9月現在）

これまでのすべての投資案件が17分野に該当。

- (1) AI・半導体
 - ①JSR株式会社
 - ②新光電気工業株式会社
- (2) デジタル・サイバーセキュリティ（自動運転技術）
 - ③Astemo株式会社
- (11) 創薬・先端医療
 - ④株式会社トプコン

JIC VGIにおける17分野に関連するディープテックスタートアップへの投資実績の例（一部のみ）

<p>航空・宇宙/ 防衛産業 (注)</p>	 超小型人工衛星  次世代ハイブリッド ロケットエンジン	 宇宙ロボット  宇宙向けエンジンや コンポーネント開発	<p>AXELSPACE</p> 小型光学衛星  衛星レーザー技術	 月面探査  ドローン開発・製造
<p>AI・半導体/ サイバーセ キュリティ/ 量子</p>	<p>GMO CYBER SECURITY IERAE</p> サイバーセキュリティ  中性原子量子コンピュータ	<p>QUNASYS</p> We are Quantum Native. 量子アルゴリズム  量子アルゴリズム	<p>TURING</p> E2E自動運転  自動運転トラック	<p>ATOM HUMANOID</p> ヒューマノイドロボット  ロボット制御プラットフォーム  スピントロニクス半導体
<p>蓄電池/ フュージョン エネルギー/ マテリアル</p>	 次世代リチウムイオン電池	 全固体電池	 フュージョンエネルギー プラントエンジニアリング	 半導体材料・プロセス  金属リサイクル・精錬

(注) 防衛領域と関連が深い領域での投資先事例。またJICとして防衛領域への投資の制限は行っていない。

注意事項

- 当資料は、JICグループの投資活動を説明するために作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は、特定の金融商品等の取得・勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料に掲載されている情報は、当資料の作成日時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料の作成には万全を期していますが、利用者がこの情報を用いて行う一切の行為（この情報を編集・加工した情報を利用することを含みます）について、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当資料に掲載されている内容の著作権は、当資料に記載された関係者ないし当社に帰属しており、目的を問わず、無断で複製、引用、転載等を行うことはできません。